

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名	29 ごみの減量と適正処理
目的	対象 市民、事業者
	意図 持続可能な社会の形成に向け、3Rを推進する
施策の方向	広報、啓発活動や支援事業の充実により、市民・事業者による3R（リデュース＝ごみの発生抑制、リユース＝再利用、リサイクル＝再資源化）の取組を推進します。また、地球環境に配慮したごみの安定・適正処理に努め、循環型社会、自然共生社会、低炭素社会の3つの要素が連携した持続可能な社会を目指します。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（Check・Action） 市民・事業者の3R推進によるごみ減量・資源化への高い意識と実践行動の継続に加え、社会経済状況の変化に伴う節約志向の高まりを背景に、ごみ量は大きく減少し、成果目標値を達成している。引き続き、3R推進によるごみ減量、資源化を基本とした、広報啓発及び支援事業、環境学習の充実を図り、幅広い世代への意識啓発により目標達成の継続に取り組む。また、製品プラスチックの資源化や指定収集袋の容量見直しなど、プラスチックごみの発生・排出抑制及び資源化によるCO ₂ の削減対策や企業と連携した資源循環の取組みなど環境負荷低減を図る実践的な取り組みを推進し、市民の環境配慮行動への意識を高める。 老朽化に伴う施設更新に取り組む廃棄物の中間処理場・最終処分場の構成市として、構成団体と連携・協力し、計画スケジュールに沿った整備を進め、廃棄物の安定処理の継続と焼却灰の埋め立てゼロを堅持する。
--

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
市民1人1日当たりの総ごみ排出量	g	715 令和3年度	674	664	693 令和8年度	◎	・1人1日当たりの排出量基準値比▲51g ・物価高騰などの影響から、市民の節約志向の高まりによるごみ量の減 ・リバウンドによるごみ量増加に備え、情報発信と意識啓発の継続
最終処分（埋立）量	-	ゼロ 令和3年度	ゼロ	ゼロ	ゼロ 令和8年度	◎	・エコセメント化事業の継続

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■29-1 3R推進によるごみの減量

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
94	【重点⑤】 ごみの減量と資源化	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・廃棄物減量及び再利用促進審議会の運営 ・3R推進によるごみ減量・資源化の広報・啓発 ・自主的なごみ減量・資源循環の取組支援 ・資源化の推進 ・環境教育の推進 ・プラスチック資源の循環促進 ・脱炭素に向けた取組の推進	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・廃棄物減量及び再利用促進審議会の運営（製品プラスチックの資源化検討） ・ごみ減量・資源化の広報・啓発（新たなデジタル技術を活用した情報発信） ・生ごみ処理機等補助金交付及び資源物集団回収奨励金交付 ・市内保育園や児童館等への出前講座の拡充 ・小・中学生向けのザ・リサイクルジュニアの発行 ・製品プラスチックの資源化検討 ・指定収集袋のサイズ、料金、統一化の検討

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①一般廃棄物処理基本計画の推進 ②指定収集袋の仕様見直し ③リユース事業の推進 ④環境学習の充実 ⑤資源循環対策の推進 ⑥調布ごみナビの機能を軸としたDXの推進	①一般廃棄物処理基本計画の重点取組事項に定めた6つの施策の進行管理と成果目標の達成 ②製品プラスチックの資源化の実施に合わせた指定収集袋の仕様見直し ③リユース拠点となる利再来留館の継続とデジタルツールを活用した粗大ごみ再利用事業の促進 ④保育園、幼稚園など幅広い世代への出前講座の拡充 ⑤製造メーカーと連携したリサイクル事業の促進 ⑥調布ごみナビの利用拡充と機能充実。生成AI機能を活用した新たな機能開発

■29-2 ごみの安定・適正処理

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
95	ごみの適正排出・適正処理の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・分別排出指導 ・ごみの適正分別 ・不法投棄対策 ・資源持ち去り禁止対策 ・ごみの適正処理 ・ふじみリサイクルセンター施設更新実施設計 ・エコセメント化施設更新実施設計 ・災害廃棄物処理計画の策定	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・清掃指導員による適正な分別排出指導の継続 ・清掃指導員による重点パトロールによる不法投棄対策・資源持ち去り禁止対策の継続 ・資源物のリサイクル拠点となる調布市クリーンセンターの安定稼働 ・ふじみ衛生組合及び三鷹市と連携した、ふじみリサイクルセンター更新工事の推進 ・東京たま広域資源循環組合及び構成団体との連携したエコセメント化施設更新工事の推進 ・災害廃棄物処理計画に基づき、災害の種別、規模、被災状況をふまえた実効性のある具体的な処理方法の検討

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①適正な収集運搬事業の継続 ②災害廃棄物処理計画の周知・啓発	①将来の人口減少及びごみの減少を踏まえた、適切な収集運搬事業の体制検討 ②災害時のごみの分別・排出方法の広報啓発・地域訓練への参加 災害の種別、規模、被災状況に応じた処理体制の検討

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度の実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・ごみアプリに変わのごみ分別支援ツール「調布ごみナビ」の普及促進【令和6年度・7年度】 ・調布ごみナビの生成AIを活用した、新たなデジタルツールの開発【令和7年度以降】	・廃棄物減量及び再利用促進員等と連携した、街の美化活動やごみ減量に向けた取組推進【令和6年度・7年度】 ・市内の児童・生徒を対象としたごみ探検隊やごみ減量キャンペーンを通じた3R推進【令和6年度・7年度】 ・製造メーカー、小売事業者等と連携した3Rの取組推進【令和6年度・7年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・更なる分別の促進【令和6年度・7年度】 ・製品プラスチックの分別収集・資源化検討【令和7年度以降】 ・指定収集袋の見直しやバイオマスプラスチック導入検討【令和7年度以降】 ・企業（生産者）が取り組むペットボトルの水平リサイクル技術・システム活用に向けた検討【令和7年度以降】 ・製造メーカーと連携した資源化対策の推進【令和6年度・7年度】	・ごみの分別意識の向上を図る意識啓発の継続【令和6年度・7年度】 ・安定した収集運搬体制の維持継続【令和6年度・7年度】 ・災害時における避難所機能の確保や災害廃棄物処理体制の強化に向け、ふじみ衛生組合リサイクルセンター及び東京多摩広域資源循環組合エコセメント化施設の施設更新【令和6年度・7年度】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・令和4年4月施行のプラスチック資源循環促進法を踏まえ、製品プラスチックの資源化対策の検討 ・廃棄物処理手数料の改定（指定収集袋の改定） ・事業系廃棄物削減に向けた食品リサイクルの普及啓発 ・将来の人口減少を踏まえた安定したごみの収集運搬体制の検討 ・循環型社会・自然共生社会・脱炭素社会の3つの要素が連携した環境負荷低減を図る廃棄物施策の展開
--